

1月10日は「110番の日」 緊急の事件・事故の際は110番へ！

「ニセ電話詐欺などの不審な電話」や「不審者による子どもへの声掛け」、「児童虐待」、「高齢者の徘徊」など、一刻を争う際は迷わず110番通報してください。

【問い合わせ】ひたちなか警察署
(☎272-0110)



慌てずに、落ち着いて
通報してください！

▽緊急の要件以外で警察へ相談したい方は…

警察の相談ダイヤル「#9110」(24時間受付)

▽聴覚や言語に障がいのある方は…

「メール110番」(<http://ibaraki110.jp>)

※文字の対話(チャット)で110番を受け付けます(携帯電話で撮影した画像の送信可)。



▲「メール110番」

▽ファックスで相談したい方は…

FAX110番「#7412」(またはFAX301-6110)

ふるさと歴訪



ー自然を探してー

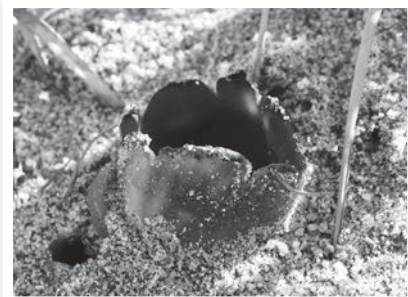
冬の砂浜に現れる「スナヤマチャワンタケ」

慶應義塾大学准教授

糟谷 大河

暮れも押し詰まった昨年12月下旬の寒い日に、私は豊岡海岸の浜辺を歩きました。初夏にはハマヒルガオやハマニガナなどの海浜植物が色とりどりの花を咲かせていた砂浜も、年の瀬ともなると海からの寒風が時折吹き付けるだけで、ひっそりと静まり返っているようでした。心静かに砂浜を歩いていると、足元に、つぼか茶碗のように見える、半分砂に埋もれた妙な形のキノコを見つけました。これは、寒い時期の砂浜に特異的に発生するキノコ、「スナヤマチャワンタケ」です。

スナヤマチャワンタケは、未熟なときは砂地の地中に埋まるように発生し、全体が黄褐色から橙褐色を帯び、イチジクを逆さにしたような形をしています。成長するにつれて地表に露出し、褐色から赤褐色となり、上部が裂開して、つぼ形、茶碗形、あるいはチューリップの花が開花したような形状になり、大きさは直径5センチメートル程度に達します。



【スナヤマチャワンタケ(豊岡海岸)】

は、国内では北海道と本州、九州に分布し、本州の太平洋側では青森県から静岡県で、日本海側では秋田県から富山県で発見されています。県内では東海村とひたちなか市、神栖市で発見の記録があります。このキノコは、海浜植物が繁茂する砂浜に発生しますが、そのような環境が県内では減少しているため、絶滅の恐れが懸念されており、「茨城県版レッドリスト」では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。なお村内では、豊岡海岸の砂浜に、11月中旬から12月下旬にかけて発生します。

冷たい海風が直接吹き付ける砂浜で、茶碗のような形状をしたこのキノコは、砂浜で生きるワラジムシの仲間などの小動物にとって、風よけや砂よけの役割を果たしているようです。スナヤマチャワンタケを観察すると、茶碗形に開いたキノコの中にワラジムシの仲間が集まって、じっとしている様子が見られます。茶碗の中は風が直接当たらず、ワラジムシの仲間にとっては風や飛砂から身を守ることができる、心地よい場所なのかもしれません。